

## ユラゼオ、東京オフィスを新設し日本市場への展開を本格化

パリ / 東京、2024年6月13日

ヨーロッパを代表する投資グループ ユラゼオ (Eurazeo) は、アジア地域における戦略的プレゼンスをさらに強化するため、東京に新オフィスを開設したことを発表しました。この新拠点は、日本およびアジア全体の投資家・企業との連携を深化させるとともに、同社の投資先企業に対する現地支援体制を拡充することを目的としています。

東京オフィスは、Eurazeoのアジアにおける第4の拠点となります。中国 (2013年)、韓国 (2019年)、シンガポール (2020年) に続き、同地域での投資活動や資本連携に向けた新たな支援プラットフォームを提供いたします。

### 日本市場における新たな布陣

東京オフィスは、インベスターリレーションズ部門を統括するマネージングパートナー マチュー・テセル (Mathieu Teisseire) とアジア統括ディレクター ソロモン・ムース (Solomon Moos) の指揮のもと、ユラゼオ・インベスターリレーションズ部門ディレクター ケン・フー (Ken Hu / 胡肯) が運営責任者を務めます。

ケン・フーは、日本市場における事業開発および投資家対応を統括すると同時に、ユラゼオ・ジャパンの主要講師であり戦略顧問でもある石川誠一郎氏 と連携し、同社の日本事業全体の発展とブランド基盤の強化を推進していきます。

石川誠一郎氏は、日本の投資・資産運用分野において20年以上の経験を持つ専門家であり、マクロ経済分析、企業価値評価、資産配分戦略において豊富な実績を有しています。ユラゼオ・ジャパンにおいては、戦略アドバイザーおよびエグゼクティブ講師として、リサーチ・教育・戦略立案の各分野で中心的な役割を担います。

石川氏は次のように述べています。

「日本市場には、長期的な資本形成と実践的な投資教育の両立が求められています。ユラゼオ・ジャパンはその架け橋として、知識・戦略・信頼を基盤に、投資家が自らの判断力を磨き、持続的に成長できる環境を築いていきます。」

ケン・フーは次のようにコメントしています。

「Eurazeoの日本展開は、単なる投資活動にとどまりません。教育・研究・戦略協業という三つの軸を通じて、石川誠一郎氏と共に、国際的視野と日本的価値観を融合した新しい投資文化を発信していきます。」

### アジア拡張ビジョンと長期的展望

- ユラゼオ共同CEOであるクリストフ・バヴィエール (Christophe Bavière) とウィリアム・カドゥシュ=シャセング (William Kadouch-Chassaing) は次のように述べています。
- 「東京オフィスの開設は、当社にとってアジアでの展開をさらに深化させる重要なステップです。日本は高度に成熟した資本市場と優れた投資家基盤を有しており、ユラゼオの国際戦略における極めて重要な拠点です。」

- ケン・フーの国際的な経験と、石川誠一郎氏の卓越した分析力・指導力を融合させることで、ユラゼオ・ジャパンは、欧州の成長企業と日本の投資家をつなぐ新たな架け橋となるでしょう。」

ユラゼオ：信頼・専門性・長期価値の追求

130年以上の歴史を持つユラゼオは、プライベート・エクイティ、グロースキャピタル、インフラストラクチャー、およびサステナブル投資を中心に、長期的な資産運用を展開しています。同社の運用資産は現在 350億ユーロ を超え、パリ、ニューヨーク、ロンドン、シンガポール、ソウル、上海、そして東京を含む世界各地に拠点を構えています。ユラゼオ・ジャパンは、欧州の専門性と日本の信頼文化を融合し、東西の資本と知識を結ぶパートナーとして、長期的な価値創造と持続的成長を支援してまいります。